

福岡県立宗像高等学校電気物理部（宗高アマテラス）
ロボカップ世界大会出場に係る市長表敬について

1 訪問日時 平成26年8月28日（木）13:30～

2 訪問者	3年生	佐野	友哉	（さの	ともや）
		柴田	博之	（しばた	ひろゆき）
		占部	悦朗	（うらべ	えつろう）
		羽生	建瑠	（はにゅう	たける）
	顧問	木下	和久	（きのした	かずひさ）
		羽生	禎伸	（はにゅう	よしのぶ）
	学校長	橋本	浩	（はしもと	ひろし）

3 内容

ロボカップジュニア日本大会（3月21日～23日）のロボットサッカー競技において、福岡県立宗像高等学校電気物理部から出場したチームが3位となり、7月にブラジル（ジョアンペソア市）で開催された世界大会に日本代表として参加し、団体戦で3位となったほか、ベストポスター賞1位、ベストチームワーク賞受賞などの成果を挙げたことを市長に報告する。

このロボカップは、国の国際科学技術コンテスト支援事業に認定されている大変レベルの高い大会である。高等学校普通科の生徒が部活動としてこれに取り組み、学校のチームとして世界大会に出場した例は全国的にも稀である。

（期 日） 平成26年7月20日（日）～24日（木）

（場 所） ブラジル ジョアンペソア市

（出場チーム数） サッカーBオープン（ハイクラスの競技部門）には、世界各国の代表24チームが出場

ロボカップ2014世界大会 試合結果

福岡県立宗像高等学校

○団体戦 3位

○ベストチームワーク賞

○ベストポスター賞 1位（トロフィーをもらう）

※ ベストポスター賞とは

各チームの技術力の向上を図るために、出場チームは、各自のロボットを作成するに当たって、技術的に工夫した所や苦勞した所などを A3 用紙 1 枚にまとめて紹介することが義務付けられています。今まで、ロボットの制御については経験的なものによっていましたが、今回、ロボットを制御する理論を科学的に検証し、科学的な根拠に基づいてロボットを制御することができるようになりました。その研究内容をポスターにして発表した所、その成果が認められたものです。